

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化の振興			20年度予算コード	1	整理番号	107	枝番号		
担当部課名	文化・交流課		コード	051201		昨年度 整理番号	124				
係名	文化振興担当係		連絡先 電話番号	3783							
上位施策名		No	65		文化・芸術活動の推進						
事務事業の概要	事業開始年度		<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				政策番号 (4) 施策番号 事業コード 1 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、文化・芸術団体				根拠法令等 (1) 杉並区文化行政推進委員会設置要綱 (2) 杉並区後援名義の使用承認事務取扱要綱 (3) 杉並区・日本フィル相互協力に関する覚書				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		アート・コレクション(区民ギャラリーの提供や特別企画展示)、日本フィル友好提携事業等を中心とした文化・芸術事業を実施する。また、区民や団体が行う文化・芸術活動の後援・共催等を行う。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 地域の中で、区民が優れた文化・芸術に触れる機会が増えるとともに、区民の主体的・創造的な文化・芸術活動が活発になる。				
	活動指標名(式)		(1) 日本フィルとの友好提携事業の実施回数 (2) 後援・共催名義使用承認事業実施件数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標 (1) 日本フィルとの友好提携事業の参加者数 (2) 後援・共催により実施した事業の参加者数				
指標	区分	単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%		
			実績		計画		計画	22年度			
	活動指標(1)	回	39		40		37	40	95.0		
	活動指標(2)	件	55		56		75	80	90.0		
	成果指標(1)	人	12,733		13,000		13,000	15,000	89.9		
成果指標(2)	人	79,044		80,000		85,000	90,000	90.6			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	14,844		53,012		42,443		25,449		
	(内)投資的経費等	千円									
	(内)委託費	千円									
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.47	0.00	2.50	0.00	2.79	0.00	2.50	0.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	22,378		22,850		25,501		22,850	
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0	
	総事業費 ++	千円	37,222		75,862		67,944		48,299		
	単位あたりコスト(-)÷	円	954,410		1,896,550		1,788,000		1,305,378		
	財源	受益者負担分	千円								
		国・都等からの支出金	千円								
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		
差引:一般財源 -		千円	37,222		75,862		67,944		48,299		
受益者負担比率 ÷	%	0.0		0.0		0.0		0.0			
19年度の主な取組み	内 容			規模	単位	事業費(千円)					
	日本フィル友好提携事業(公開リハ、ロビコン、出張コンサート等)			38	件	1,109					
	アートコレクション(区民ギャラリー等)			24	件	79					
	学校音楽祭			1	件	354					
	杉並公会堂利用料			25	件	10,559					
	その他 (後援名義使用 72件 等)					30,342					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 107 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	95.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	128.6	19年度予算 執行率%	80.1
		(仮称)杉並ジュニアオーケストラについて、20年度の設立を見送ったことによる。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・アートコレクションの一環として、区内在住の文化人の企画DVDを作成した。 ・20年度は、2階ギャラリーを本格的な展示スペースとし、これまでの区民ギャラリーの他、企画展等を実施し、多くの区民が杉並の「ひと・まち」にちなんだ優れた美術作品等にふれることのできる場～親しみやすい文化の発信拠点を創出する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	社会経済の成熟化に伴い、文化・芸術等への関心が高まっている。さらに、新杉並公会堂のオープンにより、文化・芸術活動への参加が身近になったことから、区民等の活動が一層に活発化している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	日本フィル友好提携事業は、各種コンサート、公開リハーサル、出張音楽教室等、地域に定着している。杉並公会堂の事業運営などにより、身近に優れた音楽に触れることのできる場として区民にも好評を得ている。					
	今後の予測	杉並公会堂に続き、座・高円寺(杉並芸術会館)開館に伴い、区民等の文化・芸術活動がより一層活発になることが予想され、文化施策のあり方についても質・量ともに大きく変化していくことが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区民が身近なところで文化・芸術に触れることができる機会の提供により、文化・芸術の薫り高いまちづくりの一翼を担っており、文化区すぎなみの実現施策に対する貢献度は高い。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 日本フィル友好提携事業全体を様々な視点から見直し、より効果的に区民が音楽に親しむ機会を増やす。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 区民ギャラリーを本格的な展示スペースへとしていく事で、利用者からの最低限の利用料を徴収することも視野に入れた検討を行う。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 日本フィル友好提携事業や区民ギャラリーの運営など、区が実施している文化事業は無償または最小限のコストで実施しているため、削減は困難である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 新公会堂での日本フィル友好提携事業の参加者数は、公会堂での開催効果などにより増加傾向にある。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	「すぎなみ文化芸術活動助成基金制度」による地域団体等への活動支援により、文化芸術活動の協働は実現している。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成21年度の座・高円寺(杉並芸術会館)に向けて、区の文化芸術施策の整理・統合を進めながら、新たな施策の方向性を示していく。2階ギャラリーを活用した本格的な展示活動を行うほか、学校音楽祭のあり方を検討する中で、(仮称)杉並ジュニアオーケストラに代わる仕組みとの融合なども検討していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	21年度は、ギャラリーを活用しての本格的な企画展の実施を計画しており予算見積もりは増となる。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区文化協会助成		20年度予算コード	002	整理番号	108	枝番号			
担当部課名	文化・交流課	コード	051201	昨年度 整理番号	122						
係名	文化振興担当係	連絡先 電話番号	3783								
上位施策名	No	65	文化・芸術活動の推進								
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業		政策番号	施策番号	事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等								
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 区民、文化・芸術団体	(1) 杉並区文化協会補助金交付要綱 (2) (3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区文化協会に対し、文化事業が円滑に行えるように補助金を交付する。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民の文化・芸術に触れる機会が増え、区民の文化・芸術活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能する。						
	活動指標名(式)	(1) 協会会員数 (2) 助成金交付決定件数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 協会会員数対前年伸び率 (2) 助成金交付決定件数対前年伸び率						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%			
	活動指標(1)	人	1,622	1,800	1,654	1,700	1,700	97.3			
	活動指標(2)	事業	20	35	32	35	40	80.0			
	成果指標(1)	%	134.7%	111.0%	102.0%	102.8%					
	成果指標(2)	%		175.0%	160.0%	109.4%					
総事業費・コスト把握	事業費	千円	54,492	85,611	64,910	88,346	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円									
	(内) 委託費	千円									
	職員数 (常勤 非常勤)	人	4.82	4.00	4.44	4.00	平成18年度に文化・交流協会が文化協会と交流協会の2つに分離した。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	43,669	36,560	40,582			36,560		
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0		
	総事業費 + +	千円	98,161	122,171	105,492	124,906					
	単位あたりコスト(-)÷	円	60,518	67,873	63,780	73,474					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0			0		
特定財源計 +		千円	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	98,161	122,171	105,492	124,906					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						
19年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)			
	すぎなみ文化芸術活動助成基金の助成					32	事業				
	その他 ()							64,910			

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 108 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	91.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	91.4	19年度予算 執行率%	75.8
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・情報紙(コミュかる)の編集及び有料広告の募集をサンケイリビング新聞社に委託し、協働発行したことにより、発行回数を4回から5回に、印刷は2色刷りからフルカラーに、配布は戸別配布へと拡充することができた。 ・日本フィルと公会堂との協働により、年間シート券を販売し好評を得て完売している。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	社会経済の成熟化に伴い、文化・芸術等への関心が高まっている。さらに、杉並公会堂のオープンにより、文化・芸術活動への参加が身近になったことから、区民等の活動が一層に活発化している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)						
	今後の予測	杉並公会堂に続き、座・高円寺(杉並芸術会館)会館に伴い、区民等の文化・芸術活動がより一層活発になることが予想され、文化協会の事業のあり方についても質・量ともに大きく変化していくことが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 区からの補助金により、協会の事業は円滑に行われており、区民の文化・芸術活動の振興に寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 事業の実施方法も含めた見直しを行い、区民・団体の活動支援に重点を置き、自主事業については、協会でなければできないという特色を持った企画を行っていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 協会事業は低廉な価格で優れた文化・芸術の提供を行っている。入場料金などについては、これまでも随時見直しを進めてきた。協会事業の利用者には高齢者も多い事などから、負担増につながることは慎重に検討していく。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容: NPO団体等との協働化を進めることなどによりコストの削減を進めていきたい。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 「文化芸術振興に向けた新たな支援策について」の提言を受け、文化芸術活動助成基金制度を創設した。この助成金制度の創設により、これまでの後援、共催による支援に加え、文化芸術団体等の活動をより直接的に支援することができ、区の文化振興に大きく貢献している。						
(7) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)							

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 「文化芸術振興に向けた新たな支援策について」の提言を受け、鑑賞事業から、文化・芸術活動への支援と育成を中心とした事業へと重点を置くこととした。文化芸術活動助成基金や杉並演劇祭など、文化・芸術活動への支援のさらなる充実を図っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	文化協会としての運営も3年目に入り、事業の実施経過を踏まえた、実質的、効率的な運営に努めていく。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並公会堂(PFI事業)		20年度予算コード	001	整理番号	111	枝番号				
担当部課名	文化・交流課	コード	051201	昨年度 整理番号	124							
係名	文化振興担当係	連絡先 電話番号	3783									
上位施策名	No	65	文化・芸術活動の推進									
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	18年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	(4)	施策番号	事業コード	1	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	(1) 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律 (2) 杉並公会堂改築並びに維持管理及び運営事業契約書 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区民の文化・芸術活動を始めた多様な活動場所の提供と、杉並の文化の発信拠点となる杉並公会堂を民間の資金や活力を活用したPFI手法により運営する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民が良質な文化芸術を鑑賞できる機会を提供などとともに、区民自らの文化芸術活動を気軽に行える場としていく。						
	活動指標名(式)	(1) ホール・スタジオ等の利用件数 (2) 施設利用者満足度調査				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) ホール・スタジオ等の稼働率 (2) 施設利用者満足度調査						
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	/			
	活動指標(1)	件	16,797	18,000	23,549	24,000	25,000	94.2				
	活動指標(2)	%	69.4	80	82.6	83	85	97.2				
	成果指標(1)	%	70	80	80	80	80	100.0				
	成果指標(2)	%	69.4	80	82.6	83	85	97.2				
総事業費・コスト把握	事業費	千円	570,743	923,861	894,187	923,862	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)					
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円										
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00	0.50 0.00					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	4,530	4,570	4,570	4,570					
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0					
	総事業費 + +	千円	575,273	928,431	898,757	928,432						
	単位あたりコスト(-)÷	円	34,249	51,580	38,165	38,685						
	財源	受益者負担分	千円									
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	575,273	928,431	898,757	928,432						
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0							
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)							
	施設サービス購入料		2	回	503,379							
	維持管理・運営サービス購入料		4	回	390,808							
	その他 ()				0							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 111 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	130.8	活動指標(2)の 19年度達成率%	103.3	19年度予算 執行率%	96.8
		19年度は、固定資産税等の減及び物価変動等による減により、維持管理・運営サービス購入料が当初予定の420,483千円から390,808千円に減額されている。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	19年度は、運営2年目である。前年に比べ、オープニング事業などがなかったにもかかわらず、大ホール、小ホール、スタジオ等全ての施設で利用率が高くなった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	利用者満足度調査では、全ての項目で標準以上の評価を得ている一方で、利用区分毎によって若干の不満の声もある。音響について高い評価を得ている事からも、身近な本格的音楽ホールとして、喜びの声も寄せられている。					
	今後の予測	事業者も3年目に入り、サービスの習熟、事業の見直しなどにより、利用者の満足度も向上すると考えられる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由： 杉並区の文化のシンボリック的存在として活用されており、特に音楽分野での貢献度は大である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容：					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容： PR等により区民利用をさらに高めていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容：公会堂サービス購入料は、施設の施設整備に係る費用及び維持管理・運営に係る費用から本施設の運営収入施設利用料収入を差し引いた額をサービス購入料とし、当該購入料から事業期間終了時に支払う施設簿価購入費を差し引いた額を、事業期間(30年)にわたって平準化したもので、公租公課の評価の見直し等を除き原則的に変更はない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容：上記に同じ						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方：	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) PFI事業により運営をしている。事業者(PFI杉並公会堂株式会社)は、2年間の運営実績を踏まえ、他の公共ホールの運営状況を参考にするなど、より効率的運営を目指している。					
	(3) 協働等の形態 民営化(具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 公会堂サービス購入料は、施設の施設整備に係る費用及び維持管理・運営に係る費用から本施設の運営収入施設利用料収入を差し引いた額をサービス購入料とし、当該購入料から事業期間終了時に支払う施設簿価購入費を差し引いた額を、事業期間(30年)にわたって平準化したもので、公租公課の評価の見直し等を除き原則的に変更はない。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		文化財調査・保護				20年度予算コード	005	整理番号	592	枝番号	
担当部課名	教育委員会事務局社会教育スポーツ課	コード	601610			昨年度 整理番号	786,787,788,789,790,791,792				
係名	文化財係	連絡先 電話番号	1667								
上位施策名		No	65		文化・芸術活動の推進						
事務事業の概要	事業開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	57 年度			<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等							
	区内所在の文化財 区指定登録文化財の所有者・保持者等 区民一般			(1) 文化財保護法 (2) 杉並区文化財保護条例 (3)							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内の文化財調査を進め、その成果に基づき、刊行物や案内 標示板等を媒体として、文化財保護思想の普及や区内文化 財に関する情報提供等を行なうと同時に文化財の保存措置を 講ずる。			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区内の文化財の保護のため、必要な措置を講ずる。 文化財所有者及び区民が文化財に対して理解をもち、これを 保存・活用してゆく。							
活動指標名(式)			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標								
(1) 文化財指定登録総件数			(1) 文化財保護ボランティア登録者数								
(2) 刊行物作成件数 + 文化財標示板等の作成修理件数			(2) 区共催事業 の参加人数								

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する19年度 の達成率%			
		実績	計画	実績	計画						
指標	活動指標(1)	件	129	132	131	133	138	94.9			
	活動指標(2)	件	10	8	9	13	10	90.0			
	成果指標(1)	人	16	30	32	32	45	71.1			
	成果指標(2)	人	322	350	604	360	500	120.8			
総事業費・ コスト把握	事業費	千円	13,239	9,983	8,509	13,477	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円	27	140	43	100					
	(内) 委託費	千円	8,032	5,115	4,461	5,000					
	職員数(常勤 非常勤)	人	3.40 3.70	3.00 4.00	3.07 4.10	3.00 4.00	区共催事業とは、11月に行なっている文化 財ウィークの史跡散歩(杉並郷土史会と共催)及 び杉並区郷土芸能大会(杉並区郷土芸能保存 会と共催)の2事業である。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	30,804	27,420	28,060			27,420		
		非常勤職員分	千円	10,471	11,080	11,357			11,080		
	総事業費 + +	千円	54,514	48,483	47,926	51,977					
	単位あたりコスト(-)÷	円	422,380	366,235	365,519	390,053					
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0			0		
		国・都等からの支出金	千円	1,500	2,250	2,250			2,250		
特定財源計 +		千円	1,500	2,250	2,250	2,250					
差引: 一般財源 -		千円	53,014	46,233	45,676	49,727					
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0						

19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	指定登録候補等調査委託		3	件	300
	指定登録文化財保護奨励金		107	件	1,633
	文化財案内標示板等作成・修理		6	件	1,161
	埋蔵文化財発掘調査委託		11	件	3,057
	その他 (審議会運営、ボランティア、刊行物等)				2,358

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 592 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	99.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	112.5	19年度予算 執行率%	85.2
		文化財保護審議会の効率的な運営・開催により審議会回数を削減できた。18年度文化財指定物件数が想定より少なかったため、指定文化財標柱の本数が減った。 19年度共催事業の参加人数は、当日別のイベントと重なったことで想定より大幅な参加者数となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		20年度は、史跡散歩地図(3万部)、文化財シリーズ「杉並の寺院」の大改訂・増刷を行なう他、これまでの埋蔵文化財調査の成果を公開するための「埋蔵文化財保護年報」の刊行などの刊行物の充実を図ると同時に、古く文面の読めなくなった文化財案内標示板の文面張替えを促進する。 また、文化財保護ボランティアの養成(隔年)については、今年度よりすぎなみ地域大学の講座とし、そのコーディネート等を実施する。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	文化財シリーズは昭和45年の創刊から42冊を数え、案内標示板も150を超え、文化財などに関する情報提供のための整備は順調に進んでいる。また区民の文化財に対する興味・関心の高まりと行政への区民参加の促進に伴い、文化財保護ボランティアの活動等も順調に進んでいる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	地域の歴史や文化に対する興味・関心の高まりに伴い、当該事業への期待も高まっている。このため、新たな文化財に対する情報提供の要望や、風化、劣化して読みにくくなった文化財標示板等への苦情もある。					
	今後の予測	これまでの視点での文化財に対する見方では、指定・登録対象物件に限界はあるため、新たな視点で区の歴史や文化を継承するために必要な文化財を再認識し、調査・保護を行っていく必要がある。また、文化財に興味を持ち、自ら守って行きたいという意識のある区民は地域に潜在しており、そうした区民への動機付けを積極的に行なうことで、文化財保護思想の普及は拡大できると予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:文化財の調査・保護を進め、文化財保護思想を普及することで、区民の地域の歴史や文化に対する関心が高まり、区民の文化的向上に資すると共に、郷土文化の振興と発展に貢献することができる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:文化財保護ボランティアや、区内の郷土史会・郷土芸能保存会などとの連携を進めることで、成果を向上することが可能と考えられる。また、埋蔵文化財調査については、その質の保持と継続的な資料の蓄積のために専門の常勤職員の補充(現状は欠員)の必要がある。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:文化財が国民共有の財産であるため、区民全体が受益者であり、受益率の測定も困難である。 また、文化財シリーズ等については、すでに有償頒布となっている。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:文化財の保存については、その所有者の負担によるものが大きく、これ以上そのコストを下げることは不可能である。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策): 文化財の保存はその所有者の尽力に頼るところが大きく、すでに協働体制ができている。文化財の調査や普及活動等については今後ボランティアとの連携を深めていく。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 1 文化財の指定・登録制度については、新たな視点・広い視野での選定を考える必要がある。 2 文化財保護奨励金については、より効率よく有効活用できるような制度への変革を、22~23年度の実施に向け調査・検討していく。 3 文化財保護の啓発等については、今後のボランティアの成長も踏まえ、文化財保護指導員の制度について、拡充もしくは廃止も視野に入れて検討し、22~23年度中には見直しを行なう。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 個々の具体的な事業については、文化財の情報収集の方法、奨励金交付における所有者との関係の保持・連絡調整、委員等の人材確保の方法など、いくつかの阻害要因が想定されるが、個別の検討の中で解決を図っていく。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 文化財保護行政については、急激な変化はむしろ好ましくなく、現状から一步一步着実に進めていくことが望ましいため、予算的にも現状維持をしつつ、着実な文化財保護行政を進めていくことが重要であるため。		